

元気 いっぱい!



厚狭小学校 企画委員会

厚狭川そばにある厚狭小学校は、全校児童 560 人（6 月 1 日現在）の学校です。委員会活動が盛んですが、今回取材に訪れたのは、学校行事の縁の下の力持ち『企画委員会』です。「集会を企画できるので、この委員会を選びました。」と話すのは、委員長よしたかの久保田朗敬君（6 年）。現在は、クラスの中から立候補した 5 年生 6 人、6 年生 9 人の計 15 人が、担当の平井先生、長久先生とともに活動しています。

6 月 3 日には、この企画委員会が企画・準備・運営を一手に引き受けて、全校行事「スポーツ集会」を行いました。委員のみんなは、昼休みの時間も使って、約 1 週間かけ準備に奔走。違う学年で組を分ける対抗戦にして、綱引きや玉入れ、障害走をみんなが一緒に楽しめるように工夫しました。当日も、司会進行やルール説明、はじめと終わりのあいさつと、大忙し。「やっと終わった～」と安堵の表情を浮かべる子どもたちの顔には、満足そうな笑顔がのぞいていました。「全校児童を楽しませたい」と話す企画委員の気持ちが、行事の盛り上げに一役買っているようです。



▲「よいしょ、よいしょ」みんなが綱引きをしている時も、進行具合が気になります。



◀「結果発表します！」マイクを使った司会にも挑戦。



▲企画委員会の 6 年生たち。みんなのおかげで、楽しい時間を過ごすことができました。

夢 いっぱい!

これからも
高いレベルを目指して
やっていきたい



ユニバーシアード世界大会に出場

長谷川 知代さん
(山陽小野田市出身)

鹿屋体育大学（鹿児島県）バスケットボール部に所属している長谷川知代さんが、この度、24 歳以下の日本代表に初めて選ばれ、8 月にトルコで開催される「ユニバーシアード世界大会」に出場することが決まりました。

長谷川さんは、高千帆小学校でバスケットボールをはじめ、高千帆中学校で県外のチームと試合を重ねるうちに頭角を現し、宇部女子高校（現慶進高校）1 年から大学 3 年まで、6 年連続で国体に出場しました。ゴール下での当たりの強さとスピードに加え、177 センチの長身を活かし、今年 4 月に行われた「第 22 回日本女子学生選抜大会」では、鹿屋体育大学を日本一に導くまでに成長しました。

「周りの人たちが、私にたくさん刺激を与えてくれたから、ここまでこれました。」と、謙虚に話す長谷川さんですが、外国での試合に合わせて練習方法を工夫するなど、世界レベルを視野に入れた戦いは、すでにはじまっています。

今後、長谷川さんは、7 月 9 日から日本代表のメンバーとともに東京で練習を開始し、台湾で行われる「第 28 回ウィリアム・ジョーンズカップ」に出場します。そして、8 月には、いよいよユニバーシアード世界大会が開幕。

「世界大会では、気負わずリラックスして、自分のやりたいプレーができるように、また試合を楽しむことも忘れずにやっていきたいと思います。」静かなる闘志を胸に秘め、世界に臨む長谷川さんの挑戦は、これからも続きます。